発行所
自由民主党本部
郵便番号100-8910
東京都千代田区永田町1－11－23
電話　東京 03(3581)6211(代表)
振替口座　東京00180-1-19518
定価1部　105円(税込み)
<毎週火曜日発行>
自由民主党ホームページ　URL　http://www.jimin.jp/

自由民主
LIBERAL & DEMOCRATIC

（昭和30年6月15日第三種郵便物認可）　群馬県版号外

笹川ひろよし後援会
〒373-0818 群馬県太田市小舞木町270-1
TEL.0276-46-7424　FAX.0276-49-2367
ホームページ http://www.sasagawa-hiroyoshi.com/
自由民主党群馬県支部連合会　前橋市大手町1-13-14　TEL.027-223-1515

会派を代表しての賛成討論

決断と実行の政治

自由民主党群馬県第三選挙区支部長に決定！

今年1月に公募された自由民主党群馬県第三選挙区支部長に応募。2月2日の一次書類選考、2月19日の二次面接、2月28日の自民党本部での大島副総裁、河村選対局長の面接を経て、2月29日付で自由民主党群馬県第三選挙区支部長に就任いたしました。次期衆院選での自民党議席奪還を目指し、全力で頑張ります。一層のご支援ご協力宜しくお願いいたします。

群馬県議会議員

笹川ひろよし

暮らしの安心・育てる安心・学ぶ安心

皆様との「約束」を「実現」するため 誠実に一歩一歩取り組むこと 笹川ひろよしの「信条」です

謹啓　陽春の候　皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご厚誼にあずかり、厚くお礼申し上げます。

また、昨年の群馬県議会議員選挙では19,073票という大きな力で二期連続のトップ当選をさせていただきましたこと心より感謝申し上げます。

私　笹川博義は初当選以来、群馬県議会議員として、群馬県の「暮らしの安心」「育てる安心」「学ぶ安心」の実現のために全力で取組んでまいりましたが、この度、自民党群馬県第三選挙区支部長に就任し、次期衆議院選挙にチャレンジすることになりました。

今年一月の突然の清水太田市長の自民党群馬県第三選挙区支部長職辞退を受け、自民党群馬県連による公募が行われました。私自身、県議として、自民党太田支部長として、清水衆議院議員誕生に向け全力で取組む覚悟でいただけに青天の霹靂の出来事であり、正直なところ頭の中が真っ白になりました。このことを受けて多くの方々より支部長へのご推挙の声をいただきましたが、県議としての責務のことを考え本当に悩みました。私個人で決められることではないため、緊急後援会役員総会にておはかりをしました。県議としての責務と同時に、政治家として自民党群馬県第三選挙区の代表として衆議院の自民党議席を奪還し、今の民主党政権下の日本の閉塞感を打破すべきだ、国政から東毛、群馬県のために働いてほしいなど、結果として全会一致にて国政への議決をいただき、この声に後押しをされ国政にチャレンジする決意をいたしました。

自民党群馬県第三選挙区支部長決定までの間、他の公募されている方が積極的に活動されているため、なぜ笹川は活動しないのか、と本当に多くのお叱りの声をいただきました。これは、公募である以上、自民党が決定した候補を全力で応援することが自民党の群馬県議としてのモラルであり、よって他の方が選ばれる可能性もある中、自己本位で動くことは信義に反するとの思いから、自民党本部の正式決定まで活動を自粛していたためです。結果として有権者の皆様、特に自民党員の皆様を混乱させ、ご心配をおかけすることとなりましたこと、心からお詫び申し上げますとともに、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

日本は現在、東日本大震災から復興、福島第一原発による放射能汚染問題、欧州金融不安等々、国家の非常事態であります。このことは民主党政権の不甲斐なさだけでなく、国政の混乱を招いた自民党にも責任があると痛感しております。自民党は戦後日本を支えてきた責任政党として、この混乱に終止符を打ち、しっかりとした道筋を国民に示さなければなりません。政治への信頼回復、日本再生の道のりは厳しいものでありますが、よりよい社会を次世代へ引き渡すために、私に課せられた使命であると考えております。

私　笹川博義は、「政治は国民のためにあり、国民の声が届かないのであれば、もはや政治ではない」との信念から「皆さんとの対話」を大切にし、「決断と実行の政治」を信条としながら、「混迷する国政」から「国民のための信頼される国政」へ、半生をかけて全身全霊、取組む覚悟でおります。

今後とも何卒、私　笹川博義にお力強いご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げご挨拶といたします。

謹白

私たちは笹川博義君を応援します

群馬県知事 大澤正明

参議院議員 中曽根弘文

参議院議員 山本一太

前衆議院議員 谷津義男

太田市長 清水聖義

館林市長 安樂岡一雄

群馬三区 県議団

群馬県議会議員 松本耕司

群馬県議会議員 須藤和臣

群馬県議会議員 久保田順一郎

群馬県議会議員 舘野英一

群馬県議会議員 高田勝浩

自民党県議団県政報告

◇平成24年度予算決定!!◇

6,653億8,800万円

～自民党県議団は35市町村と200万県民を応援します!～

平成24年度の主な予算をご報告致します。

県議会議員 **笹川博義**

子ども達を応援します。

○スクールカウンセラー配置／2億8,892万円
→公立中学(168校)、県立高校(64校)の全てに配置。小学校も166校へ定期的に訪問。学校の相談体制を強化します。

○県立学校耐震化推進／16億8,282万円
→改修工事17校・19棟、設計委託18校・20棟、H27年度までに全県立学校の耐震化を実現します。

○尾瀬学校／1億円
→日帰りだけでなく山小屋に泊まって自然体験も出来るようになりました。

高齢者を応援します。

○ぐんまちょい得シニアパスポート(仮称)／272万円
→65歳以上の方が加盟店よりさまざまな特典を得る事が出来ます。

○特別養護老人ホーム施設整備費補助／7億532万円
→170床の増床と老朽化の改修50床

○介護人材確保対策／6億9,011万円
→群馬独自のキャリアアップ制度により、介護福祉の質と量をレベルアップ！

働く人達を応援します。

○若者就職支援センター(ジョブカフェぐんま)／8,690万円
→県内各地の若者の就職支援をします。北毛(沼田市)、西中毛(高崎市)、東毛(桐生市)の各ジョブカフェにご相談下さい。

○緊急雇用創出基金事業／51億5,291万円
→県・市町村による直接雇用や、就職相談・支援事業により、新たに2,800人分の雇用を創出します。

農林水産業者を応援します。

○野菜価格安定事業への補助／1億8,000万円
→野菜価格下落時のセーフティーネット！

○農畜産物等放射性物質検査／1,300万円
→ぐんま産農畜産物の安心・安全保障。

○県産農畜産物ブランド力強化対策／3,500万円
→原発事故による農畜産物の風評被害を払拭し、安全性をPRします。

○ぐんまの木で家づくり支援／4億円(800戸分)
→あなたの造る家が“ぐんまの森”を守ります。最大100万円補助

地域の医療をバックアップ!

○緊急搬送システム高度化／2,948万円
→救急車にコンピューターを配備し、病院への搬送時間を短縮します。

○がん診療連携拠点・推進病院機能強化／1億900万円
→高崎日高病院・総合太田病院・原町赤十字病院

○障害児(者)歯科医療／2,000万円
→歯科総合衛生センターの歯科医師常駐化を実現しました。

○医師確保対策／3億6,620万円
→群馬県への医師定着を支援します。

○看護師等就学資金貸与／7,294万円
→不足する看護師対策として、210名分の就学資金を貸与します。

地域の産業をバックアップ!

○7つの交通軸を強化する道路整備の推進
→地域間移動の時間を短縮化することにより、地域の産業をバックアップ。

○バックアップ機能誘致促進／250万円
→首都直下型地震に備え企業を県内に誘致します。

○企業誘致推進補助金／2億4,000万円
→県内35市町村すべての地域が対象となり、新たに物流施設・データセンターへの補助も可能となりました。

地域の安全をバックアップ!

○信号機の増設(60基)／3億879万円
→あなたの街の要望に応えます。

○群馬県地震防災戦略策定／1,300万円
→東日本大震災を受け、被害を軽減する方策を考えます。

○八ッ場ダム関連事業
→利根川流域に暮らす1,200万人の命と暮らしを守る為に…。

地域の文化をバックアップ!

○世界遺産登録推進
→富岡製糸場と絹産業遺産群の登録を目指します。文化基本条例制定。県民の文化事業・文化活動をバックアップ！

○東国文化の中心“ぐんま”の再認識／1,763万円
→県内全ての古墳調査や子ども達用の副読本を作成し、ぐんまの魅力を発信・周知します。

新時代をバックアップ!

○国際戦略推進・海外向け観光情報発信等／7,114万円
→海外(東アジア)からの誘客とぐんまブランド農畜産物の海外展開支援

○ぐんま新技術・新製品開発推進補助及び次世代産業振興／1億3,000万円
→“モノづくり立県ぐんま”の企業の新たな取り組みを支援します。

○国内・海外への販路開拓支援／2,489万円
→中小企業の受注機会の確保と販路拡大を支援します。

○住宅用太陽光発電設備等設置推進費補助及び新エネルギー推進／8億2,500万円
→1万戸分の太陽光パネルとぐんま産エネルギーの導入・利用を促進します。